

令和7年度 東京都立足立特別支援学校 年間指導計画										
学部		高等部 普通科		学年	3年	学習グループ	重度・重複(3人)	教科等名	国語	
年間授業時数		55		使用教室	3年3組教室				使用教科書	なし
曜日・校時 担当教員		月曜日	5時間目(13:15～14:05)		MT	高橋 法子		ST	金野 卓郎・宇田川 良行	
		木曜日	2時間目(9:40～10:30)		MT	高橋 法子		ST	竹川 純・宇田川 良行	
ね ら い	(1)	日常生活に身近な国語について理解を深める。								
	(2)	言葉やジェスチャー、文字等によるコミュニケーションを高める。								
	(3)	言葉や文字の理解を深め、余暇活動の充実を図る。								
学期	単元名		指導月	指導時数	主な学習内容		ねらい		指導の工夫	
1 学 期	書字・運筆練習（通年） 自己紹介		4	5	・自分の名前を書く。 ・自己紹介		・文字や線、名前を書いたり、見て理解したりすることができる。 ・自分から積極的にできるようになる。		・なぞり書きや文字、名前を選択する活動を繰り返し行う。 ・大きな声や身振り手振りなど、より相手に伝わりやすくなるように指導する。	
	挨拶、返事 体育祭に向けて		5	6	・自分の名前を書く。 ・時程に合った挨拶練習 ・体育祭の事前学習		・現場実習で実行できるようになる。 ・体育祭の活動に見通しをもち、目標を決めることができる。		・大きな声や身振り手振りなど、より相手に伝わりやすくなるように指導する。 ・絵や写真を用いてイメージをもつことができるようにする。	
	体育祭の振り返り 図書室利用について 手紙の書き方		6	4	・自分の名前を書く。 ・図書室の利用方法 ・手紙の作成		・好きな本を自分で選べるようになる。 ・体育祭の思い出を絵や写真で振り返ることができる。 ・相手を意識して、敬語等の表現を使い、丁寧な字で書くことができる。		・図書室で興味のある本を楽しむようにする。 ・当日の写真やエピソードを活用する。 ・選択肢の中から書きたいことを選び、なぞり書きやシールを用いて文字を書いたり、貼ったりできるようにする。	
	気持ちを伝える 七夕		7	4	・七夕の願い事を作成。		・自分の気持ちを言葉やカード、身振り手振りなどで表現できるようになる。 ・気持ちや願いを文字やカードを使用して表せるようになる。		・教師の見本や視聴覚教材を活用する。 ・写真、絵カード、具体物を使い、イメージをもちやすいようにする。	
2 学 期	様々な言葉		9	6	・日常会話の練習		・名前や身近な言葉を意識できるようになる。		・手本、写真、絵カードを使い、イメージをもちやすいようにする。 ・新しく接するようになった人の名前など、意識できるように指導する。	
	本に親しむ		10	3	・本を読む。		・何種類かある本の中から、興味のある本を選ぶことができる。		・生徒が興味をもてるよう、跳び出す等の動きがあったり、指先の感触を刺激できたりする本を選択肢する。	
	手紙の書き方 修学旅行に向けて		11	6	・手紙の作成。 ・修学旅行の事前学習		・相手を意識して、敬語等の表現を使い、丁寧な字で書くことができる。 ・修学旅行先や公共交通機関での移動の仕方等について知る。		・選択肢の中から書きたいことを選び、なぞり書きやシールを用いて文字を書いたり、貼ったりできるようにする。 ・パンフレットやタブレット端末を用いて、具体的にイメージできるようにする。また、移動手段やルールについて確認することで、見通しをもてるようにする。	
	修学旅行の振り返り 年賀状		12	6	・修学旅行の事後学習 ・年賀状の作成		・思い出を振り返り、選択肢の中から、自分の気持ちを選ぶことができる。 ・日本の文化や習慣を知る。		・写真やパンフレットなどを用いて振り返ることができるようにする。 ・イラストを用いて、選択肢の中から、自分の気持ちを選べるようにする。 ・書字具を持つ支援をする。	
3 学 期	書道		1	4	・習字、書き初めの練習		・日本の文化や習慣を知る。		・書字具を持つ支援をする。	
	文化祭の振り返り 感謝の手紙		2	6	・文化祭の事後学習		・文化祭の思い出を絵や写真で振り返ることができる。 ・手紙やカードを用いて、自分に適した方法で感謝の気持ちを伝えることができる。		・当日の写真やエピソードを活用する。 ・なぞり書きをしたり、シールを貼ったりして手紙やカードの形式で作成できるようにする。	
	3年間のまとめ		3	5	・3年間の振り返り		・3年間の思い出を絵や写真で振り返ることができる。		・当日の写真やエピソードを活用し、具体的に思い出せるようにする。	

令和7年度 東京都立足立特別支援学校 年間指導計画

学部		高等部	普通科	学年	3年	学習グループ	A1 (7人)	教科等名	国語
年間授業時数		62		使用教室	3－5 教室			使用教科書	気持ちの本（童話館出版）
曜日・校時 担当教員		火曜日	3時間目（10：35～11：25）		MT	本庄 緑	ST	金野 拓郎、船田 麻里	
		水曜日	2時間目（9：40～10：30）		MT	本庄 緑	ST	竹内 祐、池田 光希	
ね ら い	(1)	生活に必要な国語についての理解を深め、伝え合う力を高めるとともに、それらを適切に活用する能力と態度を身に付ける。							
	(2)	様々な言葉に触れ、言葉やジェスチャー、文字などによるコミュニケーション能力を高める。							
	(3)	言葉や文字の理解を深め、余暇活動の充実を図るさせる。							
学期	単元名		月	時数	主な学習内容		ねらい		手だて
1 学 期	書字練習（通年） 図書室の利用 自己紹介		4	6	・自分の名前を書く。 ・図書室の利用方法。 ・自己紹介。		・自分の名前を書いたり、見て理解したりすることができる。 ・図書室での過ごし方や本の借り方を確認する。 ・自己紹介の挨拶をすることができる。		・なぞり書きや名前を選択する活動を繰り返し行う。 ・実際に本を借りて貸出の流れを確認できるようにする。 ・伝える項目を明確にし、必要に応じて助言する。
	体育祭の目標 体育祭の振り返り		5	7	・体育祭の事前、事後学習。		・体育祭の活動に見通しをもち、目標を決めることができる。 ・体育祭の思い出を振り返ることができる。		・絵や写真を用いてイメージをもつことができるようにする。
	様々な言葉		6	4	・場所の名前を知る。 ・季節に関する言葉を知る。		・場所の名前を正しく理解することができる。 ・季節に関する言葉を知ることができる。		・実物や写真を使い、場所と名前が正しく結びつくようにする。 ・写真や絵を用いてイメージをもてるようにする。
	七夕の願い事 暑中見舞い		6 ・ 7	6	・七夕の願い事を考えて短冊の作成。 ・暑中見舞いの作成。		・自分の願い事を短冊に書くことができる。 ・お世話になっている人に向けて暑中見舞いを作成することができる。		・願い事の例を示して、自分で考えることが難しい場合は例の中から選ぶことができるようにする。 ・なぞり書きをしたり、シールを貼ったりして作成できるようにする。
2 学 期	夏休みの振り返り 敬語		9	8	・夏休みの出来事。 ・敬語を知る。		・夏休みの思い出を振り返り、伝えることができる。 ・相手に伝わるように挨拶をすることができる。 ・「です」、「ます」を使って丁寧に話すことができる。		・夏休み帳を基に夏休みの思い出に関する写真や絵を用意し、振り返ることができるようにする。 ・繰り返しやり取りをして自分からできる頻度を高める。
	物語		10	2	・物語の読解。		・物語の内容を理解することができる。		・登場人物や話の内容を絵や図で確認して理解を促す。
	文の構成		11	8	・文章を書く。		・助詞を正しく使って話すことができる。		・助詞のカードを用いて、手に持って助詞を選べるようにする。
	年賀状		12	6	・年賀状の作成。		・年賀状を作成することができる。		・なぞり書きをしたり、シールを貼ったりして年賀状の形式で作成できるようにする。
3 学 期	文化祭に向けて		1	5	・文化祭の練習。		・話の内容を理解することができる。 ・台本に沿って自分のセリフや動きを気持ちを込めて表現することができる。		・見通しをもって発表に取り組めるよう、台本の読み合わせや動きをつけた練習を繰り返し行う。
	書写		2	6	・硬筆で線や文字を丁寧に書く。		・丁寧に書くことを意識して線や字を書くことができる。		・実態に合わせた太さや大きさをなぞり書きをできるようにワークシートを用意する。
	一年間のまとめ		3	4	・一年間の振り返り。		・自分の体験を振り返り、その時の気持ちや今の気持ちを文章や気持ちで表し、1年間の学習のまとめをする。		・ワークシートを用いて、体験したことやその時の気持ちを振り返れるよう工夫する。 ・写真や映像を用いて1年間の様々な活動を思い出せるようにする。

令和7年度 東京都立足立特別支援学校 年間指導計画													
学部		高等部 普通科		学年		3年		学習グループ		A2(7人)	教科等名	国語	
年間授業時数		62		使用教室		1棟1階		3年4組		使用教科書		気持ちの本（童話館出版）	
曜日・校時 担当教員		木曜日	6時間目(14:10～15:00)			MT	吉田 祥子		ST				
		金曜日	6時間目(14:10～15:00)			MT	吉田 祥子		ST				
ね ら い	(1) 生活に必要な国語についての理解を深め、伝え合う力を高めるとともに、それらを適切に活用する能力と態度を身に付ける。												
	(2) 様々な言葉に触れ、言葉やジェスチャー、文字などによるコミュニケーション能力を高める。												
	(3) 言葉や文字の理解を深め、余暇活動の充実を図る。												
学期	単元名		月	時数	主な学習内容			ねらい		手だて			
1 学 期	書字練習（通年） 図書の利用 自己紹介		4	6	・名前の練習 ・図書室の利用方法 ・自分について伝える			・自分の名前を書いたり、見て理解したりすることができる。 ・図書室での過ごし方や本の借り方を確認する。 ・自己紹介の挨拶をすることができる。		・なぞり書きや名前を選択する活動を繰り返し行う。 ・実際に本を借りて貸出の流れを確認できるようにする。 ・伝える項目を明確にし、必要に応じて助言する。			
	体育祭に向けて 体育祭の思い出		5	7	・体育祭の目標決め ・体育祭振り返り			・体育祭の活動に見通しをもち、目標を決めることができる。 ・体育祭の思い出を振り返ることができる。		・絵や写真を用いてイメージをもつことができるようにする。			
	様々な言葉 手紙の書き方		6	4	・場所の名前 ・季節の言葉 ・手紙を書く			・場所の名前を正しく理解することができる。 ・季節に関する言葉を知ることができる。 ・相手を意識して、敬語などの表現を使い、丁寧な字で書くことができる。		・実物や写真を使い、場所と名前が正しく結びつくようにする。 ・写真や絵を用いてイメージをもてるようにする。 ・正式な便箋、封筒を準備する。			
	七夕 暑中見舞い		7	4	・短冊作り ・暑中見舞い作り			・自分の願い事を短冊に書くことができる。 ・お世話になっている人に向けて暑中見舞いを作成することができる。		・願い事の例を示して、自分で考えることが難しい場合は例の中から選ぶことができるようにする。 ・なぞり書きをしたり、シールを貼ったりして作成できるようにする。			
2 学 期	夏休みの思い出 文の構成		9	7	・夏休みの振り返り ・助詞の学習			・夏休みの思い出を振り返り、伝えることができる。 ・助詞を正しく使って話すことができる。		・夏休み帳を基に夏休みの思い出に関する写真や絵を用意し、振り返ることができるようにする。 ・助詞のカードを用いて、手に持って助詞を選べるようにする。			
	敬語 物語		10	6	・丁寧な言葉遣い ・物語の読解			・相手に伝わるように挨拶をすることができる。 ・「です」、「ます」を使って丁寧に話すことができる。 ・物語の内容を理解することができる。		・繰り返しやり取りをして自分からできる頻度を高める。 ・登場人物や話の内容を絵や図で確認して理解を促す。			
	手紙の書き方 修学旅行に向けて		11	8	・手紙の書き方 ・調べ学習			・相手を意識して、敬語などの表現を使い、丁寧な字で書くことができる。 ・修学旅行先について調べたことをまとめることができる。		・正式な便箋、封筒を準備する。 ・ワークシートを使い、分かりやすくまとめられるようにする。			
	修学旅行の思い出 年賀状		12	5	・修学旅行の振り返り ・年賀状作り			・思い出振り返り、感想をまとめることができる。 ・年賀状を作成することができる。		・写真などを用いて、場面ごとに思い出を振り返ることができるようにする。 ・なぞり書きをしたり、シールを貼ったりして年賀状の形式で作成できるようにする。			
3 学 期	文化祭に向けて 文化祭の思い出		1	6	・文化祭発表練習 ・文化祭の振り返り			・話の内容を理解することができる。 ・台本に沿って自分のセリフや動きを気持ちを込めて表現することができる。 ・文化祭の思い出を振り返ることができる。		・見通しをもって発表に取り組めるよう、台本の読み合わせや動きをつけた練習を繰り返し行う。 ・絵や写真を用いてイメージをもつことができるようにする。			
	書写 感謝の手紙		2	6	・硬筆、毛筆 ・手紙で気持ちを伝える			・丁寧に書くことを意識して線や字を書くことができる。 ・手紙やカードを用いて、自分に適した方法で感謝の気持ちを伝えることができる。		・実態に合わせた太さや大きさでなぞり書きをできるようにワークシートを用意する。 ・なぞり書きをしたり、シールを貼ったりして手紙やカードの形式で作成できるようにする。			
	一年間のまとめ		3	3	・一年間の振り返り			・自分の体験を振り返り、その時の気持ちや今の気持ちを文章や気持ちで表し、1年間の学習のまとめをする。		・ワークシートを用いて、体験したことやその時の気持ちを振り返るよう工夫する。 ・写真や映像を用いて1年間の様々な活動を思い出せるようにする。			

令和7年度 東京都立足立特別支援学校 年間指導計画

学部		高等部 普通科		学年	3年	学習グループ	A3(8人)	教科等名	国語
年間授業時数		62		使用教室	3－7 教室			使用教科書	気持ちの本（童話館出版）
曜日・校時 担当教員		木曜日	5時間目（13:15～14:05）		MT	金野 拓郎	ST		
		金曜日	6時間目（14:10～15:00）		MT	金野 拓郎	ST		
ね ら い	(1)	生活に必要な国語についての理解を深め、伝え合う力を高めるとともに、それらを適切に活用する能力と態度を身に付ける。							
	(2)	様々な言葉に触れ、言葉やジェスチャー、文字等によるコミュニケーション能力を高める。							
	(3)	言葉や文字の理解を深め、余暇活動の充実を図る。							
学期	単元名		月	時数	主な学習内容		ねらい		手だて
1 学 期	書字練習（通年） 図書室の利用 自己紹介		4 5	8	※自分の名前を書く練習（通年で学習する） ※図書室の利用方法（通年で学習する） ・自己紹介		・自分の名前を書いたり、見て理解したりすることができる。 ・図書室での過ごし方や本の借り方を確認する。 ・自己紹介の挨拶をすることができる。		・なぞり書きや名前を選択する活動を繰り返し行う。 ・実際に本を借りて貸出の流れを確認できるようにする。 ・伝える項目を明確にし、必要に応じて助言する。
	体育祭の目標 体育祭の振り返り		5	5	・体育祭で頑張りたいことの表現 ・体育祭の感想文の作成		・体育祭の活動に見通しをもち、目標を決めることができる。 ・体育祭の思い出を振り返ることができる。		・絵や写真を用いてイメージをもつことができるようにする。 ・具体的に振り返れるように写真を使用する。
	様々な言葉		6	4	・名詞（場所の名前） ・季節に関する言葉		・場所の名前を正しく理解することができる。 ・季節に関する言葉を知ることができる。		・実物や写真を使い、場所と名前が正しく結びつくようにする。 ・写真や絵を用いてイメージをもてるようにする。
	七夕の願い事 暑中見舞い		6 ・ 7	4	・七夕の短冊に作成 ・暑中見舞いの作成		・自分の願い事を短冊に書くことができる。 ・お世話になっている人に向けて暑中見舞いを作成することができる。		・願い事の例を示して、自分で考えることが難しい場合は例の中から選ぶことができるようにする。 ・なぞり書きをしたり、シールを貼ったりして作成できるようにする。
2 学 期	夏休みの振り返り 敬語		9	6	・夏休みの出来事を振り返り ・挨拶の練習 ・「です」、「ます」をつけた会話練習		・夏休みの思い出を振り返り、伝えることができる。 ・相手に伝わるように挨拶をすることができる。 ・「です」、「ます」を使って丁寧に話すことができる。		・夏休み帳を基に夏休みの思い出に関する写真や絵を用意し、振り返ることができるようにする。 ・繰り返しやり取りをして自分からできる頻度を高める。
	物語		9 10	4	・物語の内容理解		・物語の内容を理解することができる。		・登場人物や話の内容を絵や図で確認して理解を促す。
	文の構成		11	8	・助詞の選択		・助詞を正しく使って話すことができる。		・手に持って助詞を選べるように助詞のカードを用いる。
	年賀状		12	6	・年賀状の作成		・お世話になっている人に向けて年賀状を作成することができる。		・なぞり書きをしたり、シールを貼ったりして年賀状の形式で作成できるようにする。
3 学 期	文化祭に向けて		1	5	・台詞回し（表現）		・話の内容を理解することができる。 ・台本に沿って自分のセリフや動きを気持ちを込めて表現することができる。		・見通しをもって発表に取り組めるよう、台本の読み合わせや動きをつけた練習を繰り返し行う。
	書写		2	6	・硬筆		・丁寧に書くことを意識して線や字を書くことができる。		・実態に合わせた太さや大きさをなぞり書きをできるようにワークシートを用意する。
	一年間のまとめ		3	6	・一年間のまとめ		・自分の体験を振り返り、その時の気持ちや今の気持ちを文章や気持ちで表し、1年間の学習のまとめをする。		・ワークシートを用いて、体験したことやその時の気持ちを振り返れるよう工夫する。 ・写真や映像を用いて1年間の様々な活動を思い出せるようにする。

令和6年度 東京都立足立特別支援学校 年間指導計画

学部		高等部	普通科	学年	3年	学習グループ	A4(7人)	教科等名	国語
年間授業時数		62		使用教室	3－6 教室			使用教科書	気持ちの本（童話館出版）
曜日・校時 担当教員		火曜日	4時間目（11：30～12：20）		MT	船田 麻里	ST		
		水曜日	4時間目（11：30～12：20）		MT	船田 麻里	ST		
ね ら い	(1)	生活に必要な国語についての理解を深め、伝え合う力を高めるとともに、それらを適切に活用する能力と態度を育てる。							
	(2)	様々な言葉に触れ、言葉やジェスチャー、文字等によるコミュニケーション能力を高める。							
	(3)	言葉や文字の理解を深め、余暇活動を充実させる。							
学期	単元名	月	時数	主な学習内容		ねらい		手だて	
1 学 期	書字練習（通年） 図書室の利用 自己紹介	4	9	※自分の名前を書く練習（通年で学習する） ※図書室の利用方法（通年で学習する） ・自己紹介		・自分の名前を書いたり、見て理解したりすることができる。 ・図書室での過ごし方や本の借り方を確認する。 ・自己紹介の挨拶をすることができる。		・なぞり書きや名前を選択する活動を繰り返し行う。 ・実際に本を借りて貸出の流れを確認できるようにする。 ・伝える項目を明確にし、必要に応じて助言する。	
	体育祭の目標 体育祭の振り返り	5	7	・体育祭で頑張りたいことの表現 ・体育祭の感想文の作成		・体育祭の活動に見通しをもち、目標を決めることができる。 ・体育祭の思い出を振り返ることができる。		・絵や写真を用いてイメージをもつことができるようにする。	
	様々な言葉 気になるニュース	6	3	・名詞（場所や物の名前） ・季節に関する言葉 ・調べ学習		・場所や物、季節に関する言葉を知ることができる。 ・気になるニュースを自分で調べることができる。		・実物や写真を用い、イメージがもてるようにする。 ・検索方法を確認しながら取り組むようにする。	
	七夕の願い事 暑中見舞い	6・7	4	・七夕の短冊に作成 ・暑中見舞いの作成		・自分の願い事を短冊に書くことができる。 ・お世話になっている人に向けて暑中見舞いを作成することができる。		・願い事の例を示して、自分で考えることが難しい場合は例の中から選ぶことができるようにする。 ・なぞり書きをしたり、シールを貼ったりして作成できるようにする。	
2 学 期	夏休みの振り返り 敬語	9	8	・夏休みの出来事を振り返り ・挨拶の練習 ・「です」、「ます」をつけた会話練習		・夏休みの思い出を振り返り、伝えることができる。 ・相手に伝わるように挨拶をすることができる。 ・「です」、「ます」を使って丁寧に話すことができる。		・夏休み帳を基に夏休みの思い出に関する写真や絵を用意し、振り返ることができるようにする。 ・繰り返しやり取りをして自分からできる頻度を高める。	
	物語	10	2	・物語の内容理解		・物語の内容を理解することができる。		・登場人物や話の内容を絵や図で確認して理解を促す。	
	文の構成	11	9	・助詞の選択		・助詞を正しく使って話すことができる。		・助詞のカードを用いて、手に持って助詞を選べるようにする。	
	年賀状	12	7	・年賀状の作成		・年賀状を作成することができる。		・なぞり書きをしたり、シールを貼ったりして年賀状の形式で作成できるようにする。	
3 学 期	文化祭に向けて	1	6	・台詞回し（表現）		・話の内容を理解することができる。 ・台本に沿って自分のセリフや動きを気持ちを込めて表現することができる。		・見通しをもって発表に取り組めるよう、台本の読み合わせや動きをつけた練習を繰り返し行う。	
	書写	2	4	・硬筆		・丁寧に書くことを意識して線や字を書くことができる。		・実態に合わせた太さや大きさをなぞり書きをできるようにワークシートを用意する。	
	一年間のまとめ	3	3	・一年間のまとめ		・自分の体験を振り返り、その時の気持ちや今の気持ちを文章や気持ちで表し、1年間の学習のまとめをする。		・ワークシートを用いて、体験したことやその時の気持ちを振り返れるよう工夫する。 ・写真や映像を用いて1年間の様々な活動を思い出せるようにする。	

令和7年度 東京都立足立特別支援学校 年間指導計画										
学部		高等部 普通科		学年	3年	学習グループ	B1(6人)	教科等名	国語	
年間授業時数		115		使用教室	2 棟 2 階		3 年 1 組		使用教科書	最新国語資料集（明治図書）
曜日・校時 担当教員		水曜日	3時間目（10：35～11：25）		MT	吉田 祥子	ST			
		毎日	7時間目（15:05～15:30）		MT		ST			
ね ら い	##	社会生活に必要な言語知識や技能を身に付ける。								
	##	社会の様々な事象に対し、自分なりの意見をもち、効果的に相手に伝えることができる。								
	##	文章や相手の話を正しく理解し、判断して行動することができる。								
学期	単元名		月	時数	主な学習内容		ねらい		手だて	
1 学 期	漢字		通年	80	・漢字の学習		※年間を通して漢字や書字の学習に取り組み、読み書きの力を高める。		※日常生活や働く場面に密接した漢字を選択する。	
	オリエンテーション 図書室オリエンテーション 自己紹介 漢字・言語		4	3	・国語の授業について ・自分について伝える ・図書室の利用方法 ・漢字や言語の練習		・自分のことを言葉で他者に伝える力を育成する。 ・図書室の利用法を知り、必要な情報の探し方を知る。 ・基本的な漢字の読み書きができる。		・自己紹介の鑑を作り、紹介内容や適切な言葉遣いを知らせる。 ・ほしい情報を得るための調べ方を知らせる。 ・実態に応じてプリント学習を行う。	
	体育祭振り返り		5	4	・体育祭の感想		・一つの出来事について、自分の思いを分かりやすく効果的に書くことができる。		・ワークシートを使い、体育祭の中から書くことを1つにしぼれるようにする。 ・作文メモを用意し、時系列、気持ちの動きなどを確認できるようにする。	
	読書 手紙の書き方		6	4	・POPづくり ・手紙を書く		・読書を楽しむことができる。 ・感想を短い言葉やイラストを使い、伝えることができる。 ・相手を意識して、敬語などの表現を使い、丁寧な字で書くことができる。		・読書手帖を用意し、自分の読書傾向が分かるようにする。 ・POPの例を提示する。 ・正式な便箋、封筒を準備する。	
	季節の伝統文化		7	3	・暑中見舞い作り		・お世話になっている人に季節の手紙を作成することができる。		・頭語、結語、時候の挨拶、定型のお礼の言葉、手紙独特の表現などを配布する。	
2 学 期	日本の伝統行事（お月見） 説明文を読む		9	3	・お月見について ・説明文の読解		・伝統的な行事について理解する。 ・説明文の読み方を身に付ける。		・伝統的な日本の美意識について説明する。 ・月に関する逸話を集め、興味をもたせる。 ・接続詞の役割を伝え、読解につなげる。	
	韻文を読む 日本の伝統文化（言葉遊び）		10	3	・短歌、俳句、詩の鑑賞 ・言葉遊び		・伝統的な日本の韻文について知る。 ・書かれている言葉から、作者の気持ちを類推する。 ・言葉遊びを楽しむ。 ・言語知識を増やすことができる。		・五音七音の形式になっているものを挙げ、リズムのよさに気付かせる。 ・ワークシートを使い、作者の気持ちを想像できるようにする。 ・分かりやすい教材を準備する。 ・ゲーム性をもたせ、興味をもって言語知識が増やせるようにする。	
	手紙の書き方 修学旅行に向けて		11	4	・手紙を書く ・調べ学習		・相手を意識して、敬語などの表現を使い、丁寧な字で書くことができる。 ・移動教室先について調べたことを分かりやすくまとめることができる。		・正式な便箋、封筒を準備する。 ・ワークシートを活用して調べたことを整理し、分かりやすくまとめられるようにする。	
	修学旅行の思い出 日本の伝統行事（年賀状）		12	3	・修学旅行の振り返り ・年賀状作り		・思い出を振り返り、感想をまとめることができる。 ・年賀状の書き方を知り、お世話になっている人を書くことができる。		・写真などを用いて、場面ごとに思い出を振り返ることができるようにする。 ・書き方が分かりやすいように、定型的な挨拶や手本を配布する。	
3 学 期	日本の伝統行事（書初め） 日本の伝統行事（カルタ）		1	3	・四字熟語 ・カルタ		・写真などを用いて、場面ごとに思い出を振り返ることができるようにする。 ・書き方が分かりやすいように、定型的な挨拶や手本を配布する。		・代表的な四字熟語をプリント配布する。 ・競技カルタを視聴する。 ・一字決まり句、二字決まり句をプリント配布し、ゲームとしての使い方を説明する。	
	一般常識		2	3	・正しい電話応対 ・祝儀袋・不祝儀袋を書く ・往復はがき		・適切な電話の応対ができる。 ・冠婚葬祭のルールを知り、適切に祝儀袋・不祝儀袋を書くことができる。 ・往復はがきの返信の仕方を知る。		・電話応対のマニュアルを作り、実際にやってみる。 ・代表的な祝儀袋・不祝儀袋の文字と使い方をプリントする。 ・どこを書き替えるのか、消すのかなど、丁寧に提示する。	
	ニュースを読む 感謝の手紙		3	3	・時事問題について ・手紙で気持ちを伝える		・時事問題に興味を持ち、自分の意見をもつことができる。 ・感謝の気持ちを表現することができる。		・ニュースの内容を分かりやすくリライトしておく。 ・ワークシートを使い意見をまとめやすくする。 ・今までの生活を振り返り、感謝の気持ちを具体的に書くようにする。	

東京都立足立特別支援学校 年間指導計画									
学部		高等部 普通科		学年	3年	学習グループ	B2(6人)	教科等名	国語
年間授業時数		115		使用教室	1棟1階		3年2組	使用教科書	最新国語資料集（明治図書）
曜日・校時 担当教員		水曜日	2時間目（9：40～10：30）		MT	吉田 祥子	ST		
		毎日	7時間目（15:05～15:30）		MT		ST		
ね ら い	##	社会生活に必要な言語知識や技能を身に付ける。							
	##	社会の様々な事象に対し、自分なりの意見を持ち、効果的に相手に伝えることができる。							
	##	文章や相手の話を正しく理解し、判断して行動することができる。							
学期	単元名		月	時数	主な学習内容		ねらい		手だて
1 学 期	漢字		通年	80	・漢字の学習		※年間を通して漢字や書字の学習に取り組み、読み書きの力を高める。		※日常生活や働く場面に密接した漢字を選択する。
	オリエンテーション 図書室オリエンテーション 自己紹介 漢字・言語		4	3	・国語の授業について ・自分について伝える ・図書室の利用方法 ・漢字や言語の練習		・自分のことを言葉で他者に伝える力を育成する。 ・図書室の利用法を知り、必要な情報の探し方を知る。 ・基本的な漢字の読み書きができる。		・自己紹介の鑑を作り、紹介内容や適切な言葉遣いを知らせる。 ・ほしい情報を得るための調べ方を知らせる。 ・実態に応じてプリント学習を行う。
	体育祭振り返り		5	4	・体育祭の感想		・一つの出来事について、自分の思いを分かりやすく効果的に書くことができる。		・ワークシートを使い、体育祭の中から書くことを1つにしぼれるようにする。 ・作文メモを用意し、時系列、気持ちの動きなどを確認できるようにする。
	読書 手紙の書き方		6	4	・POPづくり ・手紙を書く		・読書を楽しむことができる。 ・感想を短い言葉やイラストを使い、伝えることができる。 ・相手を意識して、敬語などの表現を使い、丁寧な字で書くことができる。		・読書手帖を用意し、自分の読書傾向が分かるようにする。 ・POPの例を提示する。 ・正式な便箋、封筒を準備する。
	季節の伝統文化		7	3	・暑中見舞い作り		・お世話になっている人に季節の手紙を作成することができる。		・頭語、結語、時候の挨拶、定型のお礼の言葉、手紙独特の表現などを配布する。
2 学 期	日本の伝統行事（お月見） 説明文を読む		9	3	・お月見について ・説明文の読解		・伝統的な行事について理解する。 ・説明文の読み方を身に付ける。		・伝統的な日本の美意識について説明する。 ・月に関する逸話を集め、興味をもたせる。 ・接続詞の役割を伝え、読解につなげる。
	韻文を読む 日本の伝統文化（言葉遊び）		10	3	・短歌、俳句、詩の鑑賞 ・言葉遊び		・伝統的な日本の韻文について知る。 ・書かれている言葉から、作者の気持ちを類推する。 ・言葉遊びを楽しむ。 ・言語知識を増やすことができる。		・五音七音の形式になっているものを挙げ、リズムのよさに気付かせる。 ・ワークシートを使い、作者の気持ちを想像できるようにする。 ・分かりやすい教材を準備する。 ・ゲーム性をもたせ、興味をもって言語知識が増やせるようにする。
	手紙の書き方 修学旅行に向けて		11	4	・手紙を書く ・調べ学習		・相手を意識して、敬語などの表現を使い、丁寧な字で書くことができる。 ・移動教室先について調べたことを分かりやすくまとめることができる。		・正式な便箋、封筒を準備する。 ・ワークシートを活用して調べたことを整理し、分かりやすくまとめられるようにする。
	修学旅行の思い出 日本の伝統行事（年賀状）		12	3	・修学旅行の振り返り ・年賀状作り		・思い出を振り返り、感想をまとめることができる。 ・年賀状の書き方を知り、お世話になっている人を書くことができる。		・写真などを用いて、場面ごとに思い出を振り返ることができるようにする。 ・書き方が分かりやすいように、定型的な挨拶や手本を配布する。
3 学 期	日本の伝統行事（書初め） 日本の伝統行事（カルタ）		1	3	・四字熟語 ・カルタ		・写真などを用いて、場面ごとに思い出を振り返ることができるようにする。 ・書き方が分かりやすいように、定型的な挨拶や手本を配布する。		・代表的な四字熟語をプリント配布する。 ・競技カルタを視聴する。 ・一字決まり句、二字決まり句をプリント配布し、ゲームとしての使い方を説明する。
	一般常識		2	3	・正しい電話応対 ・祝儀袋・不祝儀袋を書く ・往復はがき		・適切な電話の応対ができる。 ・冠婚葬祭のルールを知り、適切に祝儀袋・不祝儀袋を書くことができる。 ・往復はがきの返信の仕方を知る。		・電話応対のマニュアルを作り、実際にやってみる。 ・代表的な祝儀袋・不祝儀袋の文字と使い方をプリントする。 ・どこを書き替えるのか、消すのかなど、丁寧に提示する。
	ニュースを読む 感謝の手紙		3	3	・時事問題について ・手紙で気持ちを伝える		・時事問題に興味を持ち、自分の意見をもつことができる。 ・感謝の気持ちを表現することができる。		・ニュースの内容を分かりやすくリライトしておく。 ・ワークシートを使い意見をまとめやすくする。 ・今までの生活を振り返り、感謝の気持ちを具体的に書くようにする。